

①家庭科シラバス（課題研究）

②科目の指導目標

家庭の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

③単元指導項目と配当時間

| 項目 | 指導事項 | 内 容 | その他 |
|----------------|---|---|-----------------------------|
| 1 調査、研究、実験 | ・家庭の各項目で学習した知識と技術を生かして、生徒が主体的に課題を設定し、課題の解決を目指して調査、研究、実験などを行うようにする。作品製作や産業現場などにおける実習を組み合わせることも考えられる。 | (テーマ例) ・食文化と郷土料理 ・食品の多様化と表示 ・食事調査と栄養の改善 ・被服材料の開発と特徴 ・服飾の返還 ・洗剤の比較実験 ・流行とブランド | ・社会人講師 ・インターネット ・パソコン |
| 2 作品製作 | 家庭の各科目で学習した知識と技術を活用するとともに、さらに発展させて、個人またはグループで創意工夫した作品を製作させる。 | ・テーマに基づいた料理作り ・ドレスのデザインに基づいた製作 ・絵本や遊具作り | |
| 3 産業現場などにおける実習 | 企業及び関係機関等において、実践的、体験的な学習を行い、家庭に関する専門分野のより深い知識と技術を習得させるとともに、明確な目的意識を持たせる。 | ・服飾産業・レストラン・食堂・百貨店・老人福祉施設・保育所など | |
| 4 職業資格の取得 | 生徒の進路希望や興味・関心などに応じて、家庭に関する専門分野の資格取得や技術検定のための学習に取り組ませ、専門的な知識と技術の深化、総合化を図る。 | ・ワープロ検定 ・全国高等学校家庭科技術検定 ・秘書検定 ・色彩検定 ・毛糸編み物技能検定 | |
| 5 学校家庭クラブ活動 | 専門教科「家庭」の各科目で学習した知識と技術を生かし、課題の解決やボランティア活動などに取り組ませる。 | ・課題を設定し、課題解決に取り組む。 ・乳幼児や高齢者などとの交流活動を行うなどのボランティア活動。 | |

* 系列のメインになる調理や被服製作の実習を伴う教科とも系統づけて、応用発展させながら、課題を解決することができるように位置づける。